

本気でやるから面白い。
輝く高校生⑥



県立巻高等学校3年生 女子ホッケー部
松田 昌実さん=写真右= 将来の夢/女子ホッケー日本代表になる 得意な科目/理系の科目

同校3年生 同部
松田 尚実さん=写真左= 将来の夢/体育教師になる 得意な科目/体育

堅守速攻で日本一を目指す

双子の姉妹、昌実さんと尚実さんは「ホッケー一家」に育ち、今年8月に18歳以下(U18)女子ホッケー日本代表に選ばれました。

「父は高校で競技の指導を、大学生の姉は選手をしています。私たちは春から姉と同じ大学に進学します。3人で一緒にプレーするのが楽しみです」と尚実さん。

「コロナ禍のため、10月に予定

していたU18日本代表の日韓交流試合は中止になりました。今は、高校生活で最後の試合になる全国高等学校選抜大会に向けて練習中です。声を掛け合い、視線を合わせてパスをつなぎます」と昌実さん。

12月23日から始まる同大会には男子ホッケー部も出場し、部の理念「堅守速攻」で日本一を目指します。みんなで応援しましょう。

新型コロナウイルス感染症

ストップ! 感染拡大 事例から学ぼう ②



問 保健管理課 (☎025-212-8194)

事例2 職場を中心に計35人が感染

A社で社員食堂を中心に従業員20人が感染し、集団感染につながりました。

何があったか

- ・従業員は体調不良であったが、休もうと思わず出勤した
- ・従業員は昼食時に社員食堂を利用。食堂はいすを間引きするなど感染症対策をしていたが、マスクを外して会話をする人がいた
- ・昼食後や夕方に喫煙所で集まり、マスクを外して会話をする人がいた
- ・従業員は翌日発熱で受診し、感染が分かった。従業員20人の感染から家族や友人に広まり、最終的に濃厚接触者が120人、感染者が35人発生した

どうすれば感染を防げたか

- ・体調が悪いときは出勤せず、電話でかかりつけ医または県新型コロナ受診・相談センター(☎025-256-8275)に相談する
- ・休憩、食事時間をずらして密集を避ける
- ・休憩中も気を抜かず、話すときはマスクを着用する



なるほど! 暮らしの情報館 年末大掃除のごみ 計画的な処分を

ごみの品目によっては1カ月に1~2回の収集のものもあります。早めに整理をし、計画的に処分しましょう。

ごみの収集日は住んでいる地域によって異なります。詳しくは「家庭ごみ収集カレンダー」を確認してください。



ごみ収集カレンダー



ごみ分別一覧



新潟市ごみ減量推進キャラクター「サイチヨ」

ごみの出し方を再確認しよう

問 廃棄物対策課(☎025-226-1407)

特定5品目(乾電池類、蛍光管、水銀体温計、ライター、スプレー缶類)

- 指定の日に、無色透明か無色半透明のポリ袋に入れて出す
- ライターとスプレー缶類は必ず使い切り、やむを得ず中身が入ったままのときは袋に「中身入り」と表示する
- スプレー缶類のガスを抜くときは必ず火の気のない風通しの良い屋外で行い、缶に穴を開けない

⚠電池やバッテリーを取り外せない製品は「特定5品目」へ
電子たばこなど充電式の家電製品で電池類を取り外せないときは、無理に分解せず、そのまま「特定5品目」に出してください。

粗大ごみ

- 粗大ごみ受付センターに電話、またはインターネットで回収を申し込む
- 収集日までに粗大ごみ処理券を購入する(市内スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター、ドラッグストアなどの小売店や市役所、区役所、出張所、連絡所で販売)

同センター ☎025-290-5353 FAX 025-290-5371 (聴覚障がい者など専用)

受付時間 9時~17時(日曜、祝・休日、12月29日~1月3日除く) ※年末年始は申し込みが集中し、電話が繋がりにくくなる場合あり



スマートフォンはこちら

ごみ減量のために 不用品はリサイクルしよう

家庭で使わなくなった家具など、再利用できる物品を提供してください。

提供された物品は、リサイクル品として希望者へ抽選で提供します。

●受付場所 エコプラザ(東区下木戸3)

●受付時間 9時~17時

※月曜(祝・休日の場合翌日)、12月29日~1月3日休館

●対象物品 家具、子ども遊具、健康運動器具、ほか

●申し込み 電話で同施設(☎025-270-3009)、または同施設ホームページから申し込み

※物品は同施設職員が回収。回収先や物品の状態によっては回収できない場合あり

■使用済みの小型家電は回収ボックスへ

●対象品目 スマートフォンやデジタルカメラ、時計など16品目の小型家電で、回収ボックスに入る大きさ(おおむね縦15cm×横35cm×奥行き20cm以内)のもの

●回収場所 市内の公共施設など44カ所

※詳しくは新潟市ホームページに掲載

問 循環社会推進課(☎025-226-1391)



リサイクル品の例

スマートフォンはこちら



スマートフォンはこちら



差別・偏見をなくしましょう 問 広聴相談課(☎025・226・1025)